

# TS College report

vol.29  
2023.10

## 東京聖栄大学報



### ● C O N T E N T S ●

理事長・学長メッセージ／大学トピックス……………	2	地域共創／食育活動……………	10
校友会の活動……………	3	後援会／聖栄会／人事……………	11
管理栄養学科の活動／食品学科の活動……………	4・5	令和4年度決算報告……………	12・13・14
研究関連……………	6・7	附属わたなべ幼稚園／附属調理師専門学校……………	15
学生支援センター……………	8・9	大学トピックス／学生募集要項……………	16

## 理事長・学長メッセージ



### 飛躍へ！なお一層のOB支援を！！

理事長・学長 田所 忠弘

長い短期大学時代の歴史を踏まえ、歴代学長のもと第3代目の学長として2期目を過ごし、東京聖栄大学としても早、18年の歳月と歴史を積み重ねるに至っています。皆様OBご協力の賜物もあって新小岩地域、福島県塙町そして葛飾区等々への貢献を始めとし、(株)イトーヨーカ堂様の御協力のもと大学生が考えたバランス弁当、南葛SCサポート栄養食などを通じて着実に「食」の専門大学としての存在感を示すことが出来るようになりました。そして教職員一丸となった協力体制ゆえ、お陰様にて食文化としての発信にも福留奈美教授の尽力によりNHKの美術番組「美の壺スペシャル」でも取り上げて頂き、全国にも東京聖栄大学の存在感を示せるようになったことは嬉しい限りです。学校法人として今後、80周年の記念を迎えんとする今、社会で活躍されている総てのOB方々に、前進し続ける『聖栄葛飾祭』に是非参加頂きながら、後輩のためにも強力な聖栄大学人脈作りやバックアップなどになお一層のご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 大学トピックス

### 令和5年度 学業成績優秀奨学金授与式

令和5年6月20日（火）に学業成績優秀奨学生への奨学金授与式が行われました。

学業成績優秀奨学生は、奨学生規程に基づいて、2～3年次生に在学し、前年度1年間における学業成績が特に優秀で、品行方正かつ心身ともに健全な者を対象に、生活指導委員会及び教授会を経て学長が12名を決定しています。

授与式当日は、学長のお祝いの言葉から始まり奨学金の授与、代表学生からの感謝の言葉の後、記念写真撮影が行われ終了しました。



学年	学 科	学籍番号	氏 名	支給名称
3年次生	食品学科	2021FA01	相川 洋祐	学業成績優秀奨学生
	食品学科	2021FB16	樋渡 涼華	
	食品学科	2021FB20	堀田 夏穂	
	管理栄養学科	2021NA06	飯島 涼葉	
	管理栄養学科	2021NA13	往藏 朱音	
	管理栄養学科	2021NA17	太田 知里	
2年次生	食品学科	2022FA11	岡崎 梨花	
	食品学科	2022FA34	近藤 真里亜	
	食品学科	2022FB04	寿川 日菜多	
	管理栄養学科	2022NA36	小林 千恵	
	管理栄養学科	2022NB03	鈴木 奈桜	
	管理栄養学科	2022NB43	米原 志穂	



## 学友会の活動

### 学友会会長挨拶

今年度、学友会会長に就任いたしました管理栄養学科3年次の石垣来実です。新型コロナウイルスの影響により総会のオンライン開催や体育祭、大学祭などの行事の中止が続きましたが、今年度、4年ぶりに総会、新入生歓迎の対面開催、体育祭を無事に開催することができました。4年ぶりの開催で、企画・運営を行った学友会役員も戸惑う点が多かったですが、私たちなりに試行錯誤を繰り返しながら行いました。無事に成し遂げられたことは、私たち学生にとってとても良い機会になったと思います。今年度は、様々なことにチャレンジし学生皆さんの学校生活がより良いものとなるよう学友会役員32名一丸となり精一杯取り組んでまいりますので宜しくお願い致します。



管理栄養学科3年次生  
石垣 来実

### 学友会総会、新入生歓迎会、部・同好会説明会の開催

令和5年4月11日（火）に学友会総会及び新入生歓迎会、部・同好会説明会を対面にて開催しました。総会では、新役員（32名）の選出や承認、決算報告及び今年度の予算案等の審議を行い承認されました。総会後の新入生歓迎会では、食文化について中西載慶先生より貴重なご講演をいただき、参加した学生にとって充実した内容となりました。また、部・同好会説明会では、各団体の代表者が活動内容のアピールを行いました。

全体の最後に、抽選会を行い学生間の繋がりを深める有意義な機会となりました。



総会



中西載慶先生



抽選会



学友会役員

### 体育祭の実施

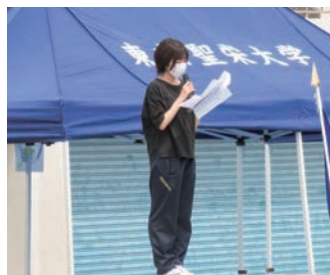
令和5年5月26日（金）に私学事業団の運動場にて体育祭を開催いたしました。4年ぶりの開催ということもあり、初めて企画・運営を行った学友会役員も戸惑う点が多かったですが、体育祭実行委員会を中心に試行錯誤を繰り返し、無事予定通りにプログラムを終了させることができました。体育祭を通じて、学生同士や教職員との親交を深められとても有意義な機会となりました。



表彰式



会長挨拶



委員長挨拶



台風の日



準備体操

## 管理栄養学科の活動

### 臨地実習報告会（病院・介護施設）

令和5年6月24日（土）に16期生の病院・介護施設実習の報告会が行われました。まだ新型コロナが「5類」へ移行する前の実習でしたが、多くの施設でコロナ禍以前の実習内容で受け入れて下さったことは感謝の念が尽きません。この報告会は報告書の作成、発表媒体の作成を通して実習を振り返り、理解を深め、さらに他施設の発表を通して知識の幅を広げる実習の総まとめとなっています。17期生も聴講している大勢の前での発表のせいか緊張する様子もみられましたが、学生運営委員らのスムーズな運営のもと、活発な質疑応答もあり有意義な学習の機会となりました。



### 元気食堂メニュー開発の写真撮影・試作会

かつしかの元気食堂の元気が出るメニューの写真撮影および試作会を、令和5年7月8日（土）に実施しました。17期生が主食兼主菜兼副菜の丼もの6メニューとおにぎりとおかずサラダの6メニューの開発を行いました。開発メニューの写真撮影を、東京工芸大学の勝倉准教授の研究室の方々にご協力頂きました。

例年8月～10月にかけて、(株)イトーヨーカ堂と葛飾区、本学で商品開発を行っています。今年も11月頃に(株)イトーヨーカ堂において、2つのメニューが販売される予定ですので、是非、お近くの(株)イトーヨーカ堂で手に取って召し上げて頂ければと思います。



撮影風景

### 研究室紹介

#### 教育学第3研究室 嶺井 正也 特任教授

教職科目を担当しています。これまで行ってきた研究はインクルーシブ教育、教育政策、学校選択、イタリア教育制度などです。本学ではゼミは担当していませんが、教員採用試験対策講座を開設し、教職ゼミとも連携をとりながら教職を目指す学生さんの支援に注力しています。具体的には一次の筆記試験、二次の小論文、個人面接などの対策になります。

花の写真撮影が趣味です。



## 食品学科の活動

### 新小岩北口広場夏まつり

令和5年8月26日（土）、27日（日）の2日間、改修された新小岩駅北口広場で、新小岩第六自治会と北口商店会による、＜新小岩駅北口広場 夏まつり＞が開催されました。本学は、①飲食コーナーでの小松菜入り特製焼きそば、フランクフルト、ラムネの即売、②食品学科が復興支援活動を継続している福島県塙町（はなわまち）からの参加支援（木工教室、朝どれ野菜の産直）などもあり、地域の一員としての協力を行いました。



小松菜入り特製焼きそば販売

### 豊洲市場内 夢市楽座ボランティア活動

東京魚市場卸協同組合が企画、運営した三陸常盤 夢市楽座は東北3県の魚介類、特産品が購入できたり情報を楽しく学べるブースで、食品学科の学生がボランティアとして7月末から、延べ13日間参加しました。



夢市楽座

### ダリちゃんショップ協力

本学（食品学科）が東日本大震災からの復興支援を継続している福島県塙町（はなわまち）の「ダリちゃんショップ」の再開に協力しました。毎月2回開催され、産直野菜などを求める多くのお客様でにぎわいました。出店のサポートとして、学生・教職員が協力を行います。



## 研究室紹介

### 食文化研究室 福留 奈美 教授

現在、4年次生7名、3年次生3名が在籍しています。食文化研究の対象は幅広く、過去から現在にいたる人々の食生活・食様式をさまざまな角度からとらえます。料理が好き、日本の郷土食や世界の食事に興味がある、料理本やレシピ情報サイトを眺めるのが好きといった方におすすめの研究室です。卒業研究・制作は、3年次からじっくり時間をかけて、自分が好きなもの、将来の夢・仕事に関連するテーマを見つけて取り組みます。外来の食文化である麻婆豆腐やパスタ料理の浸透について調べた学生もいましたし、フードコーディネートに関連するテーマで料理写真の分析を行う学生もいます。3年次からコツコツ頑張れば、4年次に学会の研究大会で発表するチャンスもあります。



## 研究関連

### 科研費 KAKENHI

科学研究費とは、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、文部科学省及び日本学術振興会が取り扱っています。

※教員の役職は、採択時のものです。

#### ○真空包装による野菜の調味効果と組織構造との関連性および新規利用法について

若手研究 研究代表者：熊谷 美智世准教授

真空包装とは包装材に食品などを入れて包装内部を吸引脱気して密封する方法です。保存を目的に行われるほか、加熱をとまなう真空調理にも用いられています。真空調理の特徴の一つとして味がよくしみ込むといわれていることから、真空包装後と加熱後に分けて調味料濃度を調べたところ、真空包装後においては常圧包装後よりも有意に味がつくことがわかりました。野菜に調味するためには加熱などにより細胞膜機能を消失させる必要がありますが、真空包装ではその必要がないことから、生の状態の食感を失うことなく調味可能であると考えられます。そこで、本研究では真空包装による調味の現象を種々の野菜について調べ、そのメカニズムを解明するとともに、新たな調理法としての活用法を検討します。

#### ○「筋・血液を介した身体活動誘発性miRNAががんの発症やがん患者の余命に与える影響」

基盤研究 (C) 研究代表者：膳法 浩史講師

運動をはじめとする習慣な身体活動が「がん」を予防することは知られていますが、そのメカニズムについては不明なままです。本研究は、ヒトの体内で作られているマイクロRNA (miRNA) という分子に注目し、日本人における身体活動誘発性miRNAががんに与える影響を検討します。「なぜ、身体活動ががんにも効果的なのか？」を明らかにできれば、国民に対する更なる運動の推奨と、運動を模倣した創薬の開発が期待されます。

#### ○「超音波動画像と筋電図と嚥下音を用いた非侵襲計測による嚥下評価のための装置開発研究」

基盤研究 (B) (一般) 研究分担者：谷本 守正教授 (代表：鈴木 裕 東洋大学准教授)

超高齢者社会を迎える日本において、高齢者の死因第1位は肺炎であり、その多くが誤嚥性肺炎に起因します。しかし現状、嚥下機能を非侵襲（身体に負担をかけない）で計測できるシステムは存在せず、検査は患者様の負担が大きいものです。そこで本研究では嚥下超音波動画像と嚥下音と頸部筋電図の3種信号を同時採取し各種解析・手法で嚥下能力の計測装置の研究開発を行い次代の医療機器としての実現を目指します。この実現のためには、以下ABCの各研究班の深いつながりとお互いのフィードバックにより実施されます。A：超音波動画像、嚥下音、筋電図同時計測による非侵襲嚥下評価システムの開発研究 B：実験用嚥下評価用食材の開発、誤嚥防止フードデザインへの考察 C：新しい評価法の臨床評価と各種嚥下評価法の有効性の考察 私は主にB研究班の遂行に励み、高齢になってもいつまでも美味しいものを食べられる食品の開発につなげます。

#### ○「瞬発系・持久系トップアスリートに特徴的な遺伝子多型・変異の同定と機能解析」

基盤研究 (B) 研究分担者：膳法 浩史講師 (代表：福 典之 順天堂大学准教授)

ヒトの体力には大きな個人差があり、遺伝と環境の両方が関与しています。環境的要因は、トレーニングや栄養などの影響がわかっていますが、遺伝的要因についてはよくわかりません。双子研究や親子研究によると、筋力の個人差は遺伝と環境が約50%ずつ関与しているようです。

本研究は、具体的にどのような遺伝子とその個人差に関与しているかを明らかにします。具体的には、①トップアスリートの瞬発系・持久系運動能力に関連する遺伝配列の違い（遺伝子多型・変異）を同定し、②その遺伝子多型・変異によって調節される遺伝子の機能的役割を明らかにします。

#### ○初等・中等教育家庭科における「だし教育コンテンツ」の開発と活用

基盤研究 (C) 研究代表者：福留 奈美准教授

「だし」は和食文化を特徴づける重要なキーコンテンツのひとつです。小学校家庭科では、これまでも5年生のみそ汁を作る調理実習でだしを取ることをしてきましたが、新しい学習指導要領（平成29年告示）では「和食の基本となるだしの役割」が明記され、「だし」をどう教えるかが問われることになりました。しかし、だしの取扱いに関する教師研修の機会も教材研究のための情報蓄積も不十分な現状があります。そこで、本研究では、だし教育のためのさまざまな教育コンテンツ（たとえば教材として使いやすい図表や各種データ、動画、ワークシート、活動アイデアなど）を開発し、現場教師の意見を反映して改良を加え、だし教育コンテンツのモデルとして情報公開し提案することを目指しています。

## 令和5年度 受託研究 一覧

No.	研究責任者	研究課題名	委託者
1	宮内 眞弓 教授	「かつしかの元気食堂」推進事業に関する研究	葛飾区
2	北村 義明 教授	「キノコを初めとした埴町特産品の利用」を前提としたメニュー開発、レストラン運営、道の駅販売加工品の提案 等	一般財団法人天領の郷 はなわ
3	風見 公子 教授	長期に継続して乳和食または和食を摂取した女子バレーボール競技者の体幹、下肢筋力、骨格筋、疲労感などに対する影響、介入研究	牛乳乳製品健康科学会議 一般社団法人 Jミルク

## 特別研究・共同研究発表会

特別研究・共同研究発表会が令和5年7月15日（土）に開催されました。

発表研究数は6件ありました。本学学内研究費を得て実施された令和4年度の研究について、発表と活発な質疑が行われ、本学研究水準の向上につながる4年ぶりの対面式開催となりました。

No.	代表申請者	研究別	研究課題名
1	風見 公子 教授	共同	幼児の食生活習慣について
2	膳法 浩史 准教授	特別	日本人における骨格筋由来血中マイクロRNAの検出
3	大塚 静子 教授	共同	高タンパク質・高脂肪食摂取がラットの腎臓石灰化に及ぼす影響について
4	宮内 眞弓 教授	特別	南葛 SC サッカー選手等に対する栄養管理の支援
5	小林 陽子 教授	特別	葛飾区との協働による「元気な食応援店」における情報発信に関する研究
6	福田 亨 教授	特別	食品含有成分による骨代謝調節機構の解明

## 令和5（2023）年度 特別研究・共同研究

本学教育研究取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしています。今年度の特別研究・共同研究計画申請について以下の通り採用決定しました。

### 令和5年度 特別研究・共同研究計画申請者一覧

No.	代表申請者	研究別	研究課題名
1	福田 亨	特別	食品含有成分による骨代謝調節機構の解明<令和4-5年度 2年計画>
2	風見 公子	共同	幼児の食生活習慣について（共同研究者：小林 陽子、高橋美恵子、柴田隆一）
3	小林 陽子	共同	葛飾区との協働による「元気食堂推進事業」における食環境整備に関する研究
4	宮内 眞弓	共同	南葛 SC との協働事業

# 学生支援センター

## 令和5年3月卒業生就職結果

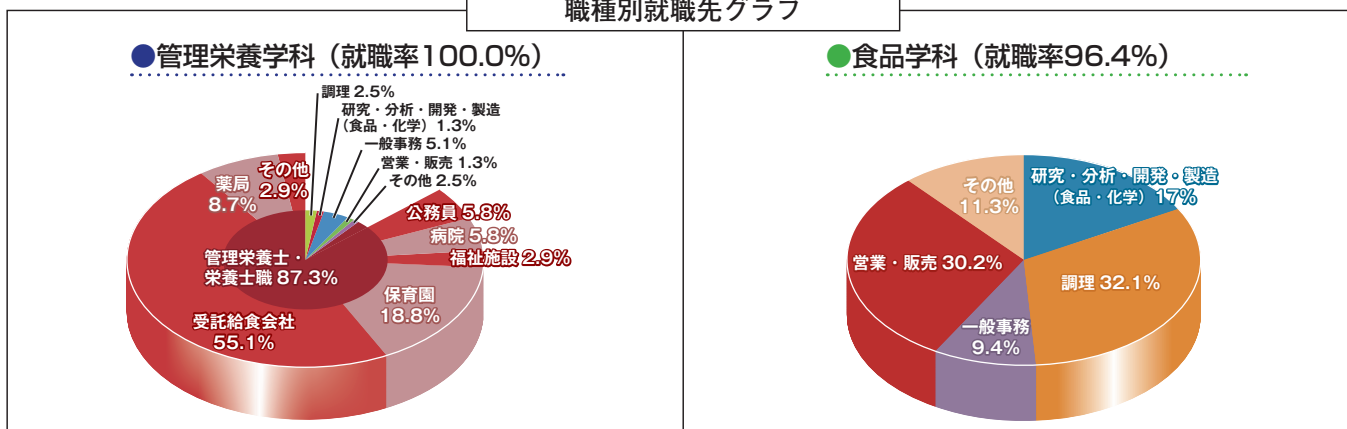
第15期生（令和5年3月卒業生）の就職率（就職希望者比）は、学部合計で98.5%となりました。学科別には、管理栄養学科は管理栄養士職を中心に100.0%、食品学科は食品企業の研究・技術・製造職や調理職を中心に96.4%となりました。本学の就職活動は、学生・保護者・教員・学生支援センターの連携により行っています。卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しています。

<卒業者数と就職者数>

	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率 (%)
管理栄養学科	82	79	79	100.0
食品学科	56	55	53	96.4
合計	138	134	132	98.5

## 第15期生（令和5年3月卒業生）の就職状況（就職率98.5%）

職種別就職先グラフ



## 主な就職先

### ■管理栄養学科 <管理栄養士・栄養士職等>

公務員	東京都職員（I類）栄養士 / 千葉県学校栄養職員（非常勤） / 杉並区学校栄養職員（非常勤） / 川口市学校栄養職員（非常勤）
病院	（独）国立病院機構関東信越グループ / 新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 / （社福）仁生社 江戸川病院 / （医）社幸会 行田総合病院
福祉施設	（社福）佑啓会
受託給食会社	エームサービス(株) / (株)グリーンハウス / (株)コンパスグループ・ジャパン(株) / シダックス(株) / ジャパンウェルネス(株) / (株)メフォス / 淀川食品(株) / (株)LEOC / (株)レバスト
保育園	（社福）久遠園 横浜茅ヶ崎保育園 / (株)日本保育サービス / (宗) 日枝神社 山王保育園 / (株)ポピンズエデュケア / (株)モード・プランニング・ジャパン
薬局	ウエルシア薬局(株) / (株)クリエイトエス・ディー / (株)サンドラッグ / (株)マツモトキヨシ / (株)龍生堂本店
その他	宮代町役場（一般事務職） / スターバックスコーヒージャパン(株)

### ■食品学科 <一般企業等>

研究・分析・開発・製造（食品・化学）	イニシオフーズ(株) / (株)サンデリカ / デリカフーズ(株) / 山崎製パン(株)
営業・販売	(株)オランダ家 / (株)シュクレイ / (株)スーパーアルプス / (株)セコマ / (株)東武ストア / プレミアムウォーター(株) / (株)ボンパドウル / (株)マルゼン / (株)メルヘン / (株)八千代ポトリー
調理	キリンシティ(株) / 銀座アスター食品(株) / (株)コロワイド / (株)すかいらくホールディングス / タリーズコーヒージャパン(株) / (株)人形町今半 / (株)Resort&Spa 雲風々

## 令和6年3月卒業予定者の就職内定状況

(株)リクルートキャリア等の就職情報会社によると、2024年3月卒業予定の大学生・大学院生対象の大卒求人倍率は1.71倍と、2023年卒の1.58倍より0.13ポイント上昇と発表されました。コロナ禍直前の2019年卒、2020年卒でそれぞれ1.88倍、1.83倍となっていた時期の水準に近づきつつあり、採用意欲が回復に向かう結果となっています。本学の4年次生の就職内定状況（9月30日現在）は、学部合計で72.7%（昨年度同月73.3%）でした。学科別には、管理栄養学科が70.2%、食品学科が77.1%という状況です。

まだ内定を得ていない学生について、今後も教職員が連携し丁寧な就職支援を継続していきます。関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

### ■令和6年3月卒業予定者の主な内定企業等（令和5年9月30日現在）

<管理栄養士職>	<一般企業>
（独）国立病院機構関東信越グループ	イニシオフーズ(株)
エームサービス(株)	キンプトン新宿東京
(株)こどもの森	ケミ・コム・ジャパン(株)
コンパスグループ・ジャパン(株)	サミット(株)
(株)サンドラッグ	(株)シュクレイ
(株)トモズ	白石食品工業(株)
(株)ベネミール	トオカツフーズ(株)
(株)メフォス	(株)ニッセーデリカ
淀川食品(株)	(株)ファーストリゾート
(株)LEOC	(株)ボンパドウル
(株)レバスト	(株)武蔵野



## 生活支援・就職支援関係行事一覧

日時（予定含む）	行事
3月30～4月4日	新年度ガイダンス期間（全学年）
3月31日・4月3日	PROG【アセスメントテスト】（1・4年次）
4月5～6日	健康診断（全学年）
4月6日（オンデマンド）	履歴書・エントリーシート対策講座（3年次）
4月10日・12日・14日	日本学生支援機構奨学金 高校時予約採用者説明会（1年次）
4月17日・19日・21日	日本学生支援機構奨学金 在学採用希望者説明会（全学年）
5月9日	自己分析ガイダンス/職業適性テスト（3年次）
5月23日（オンデマンド）	公務員教養試験ガイダンス（1～3年次）
5月30日	夏インターンシップ対策講座（3年次）
6月7日（オンデマンド）	WEB筆記試験対策講座（1～3年次）
6月20日	学内奨学生授与式（2～3年次）
6月22日（オンデマンド）	WEB筆記試験対策講座の解説（1～3年次）
7月4日	就活マナー対策講座（3年次）
7月27日	直営給食施設希望者ガイダンス（4年次）
10月5日	秋冬インターンシップ対策講座（3年次）
10月12日	WEBテスト対策講座&受験会（3年次）
12月1日（オンデマンド）	キャリアデザインガイダンス（1年次）
12月1日（オンデマンド）	ワークライフバランス講座（2年次）
12月2日	ディスカッション対策講座（3年次）
12月～3月	普通救命（AED）講習会（全学年）
12月14日	就活直前総まとめ講座（3年次）
2月22日（オンデマンド）	3年生直前！春休み準備セミナー（2年次）
2月13日・14日	管理栄養士関係企業学内業界説明会（3年次）
2月15日・16日	食品関係企業学内業界説明会（3年次）

### <随時実施>

- ・学年担任、研究室担当教員、学生支援センター、就職支援アドバイザーの連携による就職支援
- ・就職支援アドバイザーによる個別相談・支援（対面・オンライン）
- ・就職支援システム（キャリアタスUC）の活用（自宅PCにて求人票・内定報告書等の閲覧が可能）
- ・公務員試験受験希望者に対する公務員人事経験者による個別指導
- ・大学院進学希望者への個別指導
- ・データベース利用による、食品関連企業、直営給食施設への求人依頼
- ・日本学生支援機構奨学金返還説明会

## 各種奨学金制度

### ○日本学生支援機構の奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度（貸与型・給付型）は、勉学に励む意欲があり、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対して教育を受ける機会を保障する国が実施している制度です。

申込時期は、「春期」と「秋期」の年2回あります。なお、災害等により家計急変された際の救済制度として「緊急採用・応急採用」があり随時申込が可能です。

奨学金制度利用する際には、「学力基準」および「家計基準」があり、基準を全て満たす必要があります。

### ○高等教育の修学支援新制度

高等教育の修学支援新制度は、2020年4月より大学等の高等教育における「授業料や入学金の減免」及び「給付型奨学金（日本学生支援機構）」の2つからなる制度として始まりました。本学は文部科学省から支援対象校として認定を受けていますので、本学の学生は、本制度に申請することができます。修学支援新制度の申請は、給付型奨学金『日本学生支援機構』、授業料等減免『大学（本学）』夫々手続きが必要です。申請に関する案内は、学内の奨学金説明会にて行っていますので、申請を希望する際は、必ず説明会に出席してください。また、本制度の詳細は以下のホームページをご覧ください。

### 【ホームページURL】

- ・文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度について」

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/hutankeigen/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

- ・独立行政法人日本学生支援機構ホームページ「進学資金シミュレーター」（支援区分確認等）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>

各種奨学金に関するお問合せは、学生支援センターまで



## 地域共創・食育活動

### わんぱく相撲葛飾区大会に協力

令和5年5月14日（日）に、第46回わんぱく相撲葛飾区大会が開催され、東京青年会議所葛飾区委員会を中心とした実行委員会の協力依頼に基づき、本学学生による総合司会、および模擬店の出店（カレーライス、ちゃんこ汁）協力を行いました。参加協力した学生達にとって、地域の方々と交流する機会として有意義な活動となりました。



総合司会（学生会役員）

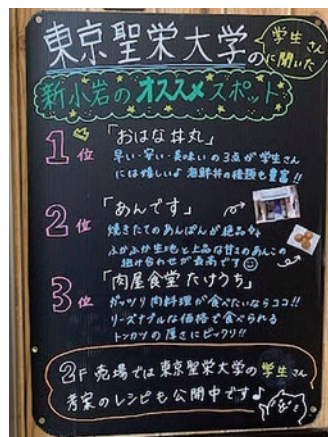


模擬店（調理技術研修生他）

### スーパーサミットとのコラボ事業

令和5年8月より近隣のスーパー「サミットストア新小岩駅北口店」の店内入り口に、学生約80名が選んだ新小岩おすすめスポットと学生考案の「トマトカレー」レシピのPOPが掲示されました。

今後も順次学生が考案したレシピ内容をPOPで紹介していく予定です。



店内のPOP

### かつしか区民大学 東京聖栄大学連携講座2023 ～食品の科学シリーズ～

食品学科では、地域連携活動の一環として、かつしか区民大学東京聖栄大学連携講座を2022年より開講しています。小学生の親子を対象に、「食」の楽しさを伝え科学の視点を育む講座として、2023年には食品の科学シリーズ全4回（8月7、8日午前・午後）を、片山佳子教授、谷本守正教授、篠原優子講師、荒木裕子特任教授が担当しました。



谷本守正教授の講義風景  
「乳から見える世界いろいろ！」



荒木裕子特任教授の講義風景  
「焼くとおいしくなる不思議！」

区民大学 東京聖栄大学連携講座2023 食品の科学シリーズ

自由研究のヒントに!!

楽しく学ぶ! 自由研究のヒントに!!

チョコヒンカコウ フジギ

## 食品加工の不思議

カフカツ

一つくって観察してみよう

各回 1人 500円 ※オンライン受講者 無料

8/7 10:30~12:30 ヨーグルトの飲み物に大変身!

8/7 15:00~17:00 乳から見える世界いろいろ!

8/8 10:30~12:30 ふんわり、ふわふわ! ふくらむ不思議

8/8 15:00~17:00 焼くとおいしくなる不思議!

対象 区内在住・在学の小学生（原則3年生以上）とその保護者 ※会場参加の場合

定員 会場：20人（多数抽選） オンライン：100人

会場 ワンズビル（男女平等推進センター） 葛飾区立石5-27-1

## 後援会の活動



後援会会長  
川嶋 秀久

令和5年5月8日(月)、新型コロナウイルス感染症は、感染症法上2類から5類へ位置付けられました。これにより、法律に基づいた行政による様々な要請・関与から、個人の判断や選択に任せる対応に変わりました。その結果、これまで数年間自粛されていたイベント等も再開されつつあります。大学側と協議を重ねながら、大学側の教職員と保護者の皆様との懇談を通して、学生の生活状況や学業成績等について直接意見交換できる機会として保護者会を共催するなど、様々な取り組みを行ってまいります。また、学友会や部・同好会活動、就職関連書籍や図書館書籍の充実、さらに奨学・奨励基金の助成も行ってまいります。

これらの活動を通じて、本学の目的である「健康・栄養・食品に関する専門的な知識と技術を身につけ、社会に貢献できる人材を育成する」をサポートしてまいります。引き続き、皆様のご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 聖栄会の活動



聖栄会会長  
松崎 政三

本年度は、新型コロナウイルスの感染が終息に向かい始めたことから、マスク生活もケースバイケースとなり、大学生活や日常生活が戻り始めました。聖栄会の活動も今後は、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、大学と連携し聖栄会活動を推し進めてまいります。

同窓会は、会員の親睦と資質の向上、そして大学行事へも積極的に参加しながら、卒業生それぞれが社会で大いに活躍し、母校の知名度を高めていくことが努めであると認識しております。

また、在学生についても、各分野における卒業生の活躍状況などを知り進路を考える場を作ることをきっかけに、会組織の拡大と充実に繋げていきたいと考えております。

### 聖栄会の主な活動 令和5年度

- 4月 聖栄会だより発行 ○5月 学友会主催体育祭に協賛参加
- 6月 令和5年度定期総会並びに懇親会開催 ○11月 聖栄葛飾祭参加協力
- 令和6年3月聖栄大学16期卒業生記念品贈呈 ○役員会年4回開催：1月、5月、6月、10月

## 人事について (順不同 敬称略)

### 事務系

#### ■昇任

令和5年7月1日付  
企画調整室企画調整課 課長補佐  
(生涯学習センター課長補佐兼務)  
谷内 ひろみ  
(前：企画調整室 係長  
生涯学習センター 係長 兼務)

#### ■採用

令和5年4月20日付  
法人総務部秘書室(臨時)  
松下 麻衣

令和5年9月1日付  
法人総務部総務課(臨時)  
山田 朋美

#### ■配置換え

令和5年7月1日付  
大学事務部学務課 主任  
中村 太一  
(前：大学事務部学生支援センター  
就職支援・学生支援課 主任)

大学事務部学生支援センター  
学生支援・就職支援課  
伊従 紗也佳(前：学務課)

#### ■退職

令和5年7月31日付  
大学事務部 学生支援センター長  
学生支援・就職支援課長  
山口 信生

令和5年8月31日付  
大学事務部学務課主任  
専門学校助手兼務  
坂本 優里

## 令和4年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

令和4年度の財務状況は、財政計画に基づき収入増、支出抑制の予算編成を行いました。事業活動収入は前年度比2,949万円減の12億2,048万円となりました。

支出については、新型コロナウイルス感染症対策は落ち着きつつあり、前年度比262万円増の13億2,110万円となり、基本金組入前当年度収支差額は、1億63万円の支出超過（赤字）となり、4期連続の支出超過となりました。

## 1. 資金収支計算書

令和4年度の資金収支規模は、29億7,256万円となり、前年度より2億1,266万円減少していますが、有価証券の早期償還に伴う売買1億8,428万円の減少が主な要因です。

前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は18億412万円、支出額は18億7,373万円となり、翌年度繰越支払資金は6,961万円減の10億9,882万円となりました。

資金収支計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) (単位 千円)

	資金収支計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) (単位 千円)				
	科目	予算	決算	差異	
収入の部	学生生徒等納付金収入	898,580	898,544	36	
	手数料収入	14,904	15,174	△270	
	寄付金収入	5,520	5,510	10	
	補助金収入	200,527	199,782	745	
	国庫補助金収入	150,752	150,752	0	
	都県補助金収入	47,675	46,851	824	
	区市補助金収入	2,100	2,179	△79	
	資産売却収入	600,000	600,000	0	
	付随事業・収益事業収入	14,951	15,061	△110	
	受取利息・配当金収入	66,816	66,857	△41	
	雑収入	18,499	18,773	△274	
	借入金等収入	0	0	0	
	前受金収入	337,752	391,391	△53,639	
	その他の収入	17,255	17,328	△73	
	資金収入調整勘定	△410,922	△424,296	13,374	
	前年度繰越支払資金	1,168,432	1,168,432		
	収入の部合計	2,932,314	2,972,556	△40,242	
	支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費支出	721,270	720,467	803
教育研究経費支出		304,576	304,463	113	
管理経費支出		99,050	99,085	△35	
借入金等利息支出		660	660	0	
借入金等返済支出		12,220	12,220	0	
施設関係支出		42,075	42,259	△184	
設備関係支出		61,722	66,323	△4,601	
資産運用支出		632,800	632,799	1	
その他の支出		16,012	18,126	△2,114	
[予備費]		(10,000)		0	
資金支出調整勘定		△16,860	△22,668	5,808	
翌年度繰越支払資金		1,058,789	1,098,822	△40,033	
支出の部合計		2,932,314	2,972,556	△40,242	

## 2. 事業活動収支計算書

事業活動収入は12億2,048万円で、事業活動支出は13億2,110万円であり、基本金組入前当年度収支差額は1億63万円の支出超過（事業活動収支差額比率△8.2%）となり、基本金組入額1億2,650万円を控除した当年度収支差額は2億2,712万円の支出超過となりました。（基本金組入後収支比率120.8%）

その結果、翌年度繰越収支差額は11億3,586万円と支出超過額が増加しました。

事業活動収支計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) (単位 千円)

	事業活動収支計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) (単位 千円)			
	科目	予算	決算	差異
教育活動収入	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	898,580	898,544	36
	手数料	14,904	15,174	△270
	寄付金	5,918	6,032	△114
	経常費等補助金	187,500	186,755	745
	国庫補助金	142,583	142,583	0
	都県補助金	42,817	41,993	824
	区市補助金	2,100	2,179	△79
	付随事業収入	10,951	11,061	△110
	雑収入	18,499	18,773	△274
	教育活動収入計	1,136,352	1,136,340	12
	事業活動支出の部			
	人件費	719,594	718,790	804
	教育研究経費	492,107	490,685	1,422
管理経費	107,563	108,058	△495	
徴収不能額等	2,005	2,038	△33	
教育活動支出計	1,321,269	1,319,571	1,698	
教育活動収支差額	△184,917	△183,232	△1,685	
教育活動外収入	科目	予算	決算	差異
	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	64,879	64,920	△41
	その他の教育活動外収入	4,000	4,000	0
	教育活動外収入計	68,879	68,920	△41
	事業活動支出の部			
借入金等利息	660	660	0	
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	660	660	0	
教育活動外収支差額	68,219	68,260	△41	
経常収支差額	△116,698	△114,972	△1,726	
特別収支	科目	予算	決算	差異
	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	15,188	15,217	△29
	特別収入計	15,188	15,217	△29
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	727	871	△144
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	727	871	△144
	特別収支差額	14,461	14,346	115
	予備費	(10,000)		0
基本金組入前当年度収支差額	△102,237	△100,626	△1,611	
基本金組入額合計	△114,700	△126,496	11,796	
当年度収支差額	△216,937	△227,122	10,185	
前年度繰越収支差額	△908,734	△908,734	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△1,125,671	△1,135,856	10,185	

### 3. 貸借対照表

令和4年度末の資産総額は1億1,697万円減の94億7,268万円です。固定資産は6,093万円減の83億4,632万円になり、流動資産は5,604万円減の11億2,636万円となりました。

負債総額は、借入金返済などで1,635万円減少し、7億8,653万円となりました。

純資産は1億63万円減の86億8,615万円となり、財政としては特に問題ない状況です。

貸借対照表 (令和5年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,346,316	8,407,247	△60,931
有形固定資産	5,041,046	5,125,840	△84,794
土地	1,889,389	1,889,389	0
建物	2,685,795	2,756,341	△70,546
その他の有形固定資産	465,862	480,110	△14,248
特定資産	630,123	597,323	32,800
その他の固定資産	2,675,147	2,684,084	△8,937
流動資産	1,126,364	1,182,405	△56,041
現金預金	1,098,822	1,168,432	△69,610
その他の流動資産	27,542	13,973	13,569
資産の部合計	9,472,680	9,589,652	△116,972

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	334,875	348,772	△13,897
長期借入金	12,220	24,440	△12,220
退職給与引当金	322,655	324,332	△1,677
流動負債	451,659	454,108	△2,449
短期借入金	12,220	12,220	0
前受金	391,391	398,000	△6,609
その他の流動負債	48,048	43,888	4,160
負債の部合計	786,534	802,880	△16,346

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	9,822,003	9,695,506	126,497
第1号基本金	9,674,003	9,557,506	116,497
第2号基本金	60,000	50,000	10,000
第4号基本金	88,000	88,000	0
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	△1,135,856	△908,734	△227,122
純資産の部合計	8,686,147	8,786,772	△100,625
負債及び純資産の部合計	9,472,680	9,589,652	△116,972

### 4. 財産目録

資産総額94億8,148万円の内訳は、基本財産51億6,181万円(54.4%)、運用財産40億1,747万円(42.4%)、収益事業財産3億221万円(3.2%)となっています。

また、負債総額7億9,283万円の内訳は、固定負債3億3,487万円、流動負債4億5,166万円、収益事業用負債630万円となっています。資産総額から負債総額を差し引いた正味財産は86億8,865万円で、前年度比1億19万円減となりました。

財産目録 令和4年度 (総括表) (令和5年3月31日現在) (単位 千円)

I 資産総額	9,481,481
内 基本財産	5,161,806
運用財産	4,017,465
収益事業財産	302,210
II 負債総額	792,830
III 正味財産	8,688,651

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	5,161,806
有形固定資産	5,041,046
土地	1,889,389
建物	2,685,796
構築物	18,282
教研機器備品	250,397
管理用機器備品	8,211
図書	184,961
車両	4,010
特定資産	60,000
第2号基本金引当特定資産	60,000
その他の固定資産	60,760
借地権	59,900
電話加入権	860
2. 運用財産	4,017,465
現金預金	1,098,822
定期預金	400,000
有価証券	1,911,811
差入保証金	9,166
退職給与引当特定資産	38,045
減価償却引当特定資産	532,078
未収入金	24,259
販売用品	74
前払金	3,013
立替金	167
仮払金	30
3. 収益事業用財産	302,210
土地	185,313
建物	97,057
構築物	134
長期前払費用	22
現金預金	19,663
短期前払費用	21
資産の部合計 (A)	9,481,481

負債額	
1. 固定負債	334,875
長期借入金	12,220
退職給与引当金	322,655
2. 流動負債	451,659
短期借入金	12,220
未払金	19,809
前受金	391,391
預り金	28,239
3. 収益事業用負債	6,296
前受金	1,296
預り保証金	5,000
負債の部合計 (B)	792,830

正味財産 (A) - (B)	8,688,651
----------------	-----------

## 5. 5カ年連続事業活動収支計算書（旧：消費収支計算書）

平成30年度から令和4年度までの事業活動収支計算書は、別表のとおりです。

### 5カ年連続事業活動収支計算書（令和4年度）

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全国平均 医歯系を除く
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	
(教育活動収支・収入の部)											
学生納付金	1,088,310	81.0	1,047,364	81.7	1,005,247	77.7	955,260	76.4	898,544	73.6	72.2
手数料	21,066	1.6	17,727	1.4	13,928	1.1	19,038	1.5	15,174	1.2	2.2
寄付金	6,794	0.5	6,877	0.5	6,163	0.5	7,346	0.6	6,032	0.5	1.5
経常費等補助金	154,877	11.5	147,242	11.5	203,949	15.8	185,575	14.8	186,755	15.3	13.9
付随事業収入	11,189	0.8	9,140	0.7	6,546	0.5	3,940	0.3	11,061	0.9	3.5
雑収入	19,210	1.4	14,161	1.1	9,953	0.8	18,078	1.4	18,773	1.5	2.8
教育活動収入計	1,301,446	96.9	1,242,512	96.9	1,245,784	96.3	1,189,237	95.1	1,136,340	93.1	96.1
(教育活動収支・支出の部)											
人件費	725,370	54.0	725,771	56.6	747,764	57.8	732,223	58.6	718,790	58.9	50.3
教育研究経費	467,644	34.8	441,040	34.4	490,372	37.9	469,831	37.6	490,685	40.2	33.6
管理経費	110,772	8.2	112,248	8.8	102,167	7.9	99,282	7.9	108,058	8.9	8.1
徴収不能額等	2,583	0.2	660	0.1	0	0.0	1,678	0.1	2,038	0.2	0.0
教育活動支出計	1,306,369	97.3	1,279,719	99.8	1,340,303	103.6	1,303,014	104.2	1,319,571	108.1	92.1
(教育活動外収支・収入の部)											
受取利息・配当金	34,729	2.6	33,885	2.6	41,584	3.2	55,045	4.4	64,920	5.3	1.7
その他の教育活動外収入	3,000	0.2	3,000	0.2	2,800	0.2	1,900	0.2	4,000	0.3	0.3
教育活動外収入計	37,729	2.8	36,885	2.9	44,384	3.4	56,945	4.6	68,920	5.6	2.0
(教育活動外収支・支出の部)											
借入金等利息	1,540	0.1	1,320	0.1	1,100	0.1	880	0.1	660	0.1	0.1
その他の教育活動外支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
教育活動外支出計	1,540	0.1	1,320	0.1	1,100	0.1	880	0.1	660	0.1	0.2
(特別収支・収入の部)											
資産売却差額	930	0.1	694	0.1	2,602	0.2	2,364	0.2	0	0.0	0.8
その他の特別収入	2,907	0.2	2,497	0.2	1,379	0.1	1,422	0.1	15,217	1.2	1.1
特別収入計	3,838	0.3	3,191	0.2	3,981	0.3	3,786	0.3	15,217	1.2	1.9
(特別収支・支出の部)											
資産処分差額	9,801	0.7	32,607	2.5	2,890	0.2	14,592	1.2	871	0.1	1.2
その他の特別支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.1
特別支出計	9,801	0.7	32,607	2.5	2,890	0.2	14,592	1.2	871	0.1	1.3
基本金組入前当年度収支差額	25,304	1.9	△ 31,057	△ 2.4	△ 50,142	△ 3.9	△ 68,519	△ 5.5	△ 100,626	△ 8.2	6.4
基本金組入額合計	△ 68,223	△ 5.1	△ 100,492	△ 7.8	△ 85,224	△ 6.6	△ 46,608	△ 3.7	△ 126,497	△ 10.4	△ 10.1
当年度収支差額	△ 42,919	△ 3.2	△ 131,549	△ 10.3	△ 135,366	△ 10.5	△ 115,127	△ 9.2	△ 227,122	△ 18.6	△ 3.7
前年度繰越収支差額	△ 483,773	△ 36.0	△ 526,692	△ 41.1	△ 658,241	△ 50.9	△ 793,607	△ 63.5	△ 908,734	△ 74.5	△ 80.2
基本金取崩額	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3.2
前年度繰越収支差額	△ 526,692	△ 39.2	△ 658,241	△ 51.3	△ 793,607	△ 61.3	△ 908,734	△ 72.7	△ 1,135,856	△ 93.1	△ 80.7

※全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」大学法人（医歯系を除く）3年度

※上記以外につきましては、本学ホームページ内、情報公表の11.財務情報に記載しております。  
 そちらでご確認ください。(URL: [https://www.tsc-05.ac.jp/about\\_us/jouhou\\_koukai/#](https://www.tsc-05.ac.jp/about_us/jouhou_koukai/#))

## 東京聖栄大学 教育研究施設設備充実募金のお願い

本学は平成17年4月、聖徳栄養短期大学を改組して東京聖栄大学を創立以来、社会の急激な変遷に対応して、着々と健康・栄養・食品の教育に関わる大学としての基盤整備確立に努力し、その成果を挙げてまいりました。

現在、新型コロナウイルス感染症は未だ予断を許さない状況ですが、本学では大学生活を安全安心に過ごすことができるよう、保健管理や環境衛生の取組を進めながら、教育機関としての役割を維持するため対面での授業を実施しております。

さて、本学では、予てから教育研究の充実を図り、更なる高度化推進を実現するため、「教育研究充実募金」を行ってまいりました。この寄付募金は財政基盤の強化の一環として、広く内外の学園関係者に呼びかけ、積極的に募金活動を実施いたしており、例年募金にご協力くださりまして誠に有難うございました。

つきましては、現在物価高騰による厳しい社会・経済情勢のもとでのお願いで誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解を賜り、募金要綱等をご覧いただきまして、寄付募金にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この寄付金は教育研究経常費に充てるものであり、出資目的寄付金ではありません。

この寄付金は、個人の場合は特定公益増進法人への寄付金として所得税法による減免税措置（税額控除）が受けられます。また、法人の場合は、日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄付金として、寄付金の全額を損金に算入することができます。

### 募金要綱

1. 目的：教育・研究に要する経常的経費に充当するため
  2. 募金目標額：1千万円
  3. 寄付金額：1口 1万円
  4. 募集期間：令和6年3月末まで
  5. 申込書、振込方法：本学所定の用紙をご利用ください
- ◎この寄付金は任意であります。何卒ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◎この募金は、個人の場合は所得税法により税額控除が受けられます。法人の場合は受配者指定寄付金として全額損金に算入することができます。詳細については下記にお問い合わせください。
- 学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係 TEL 03-3692-0211(代)

### 募金申込状況

平成23年度から令和4年度までの募金申込状況は下表のとおりです。  
 この募金は、別口座に積み立てられ募金の趣旨に則り、有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額(円)	年度	申込件数	金額(円)
平成23年度	50	6,790,000	29年度	95	6,490,000
24年度	110	7,910,000	30年度	73	5,930,000
25年度	130	8,395,435	令和元年度	83	6,628,000
26年度	137	6,855,000	2年度	56	5,390,000
27年度	139	8,280,000	3年度	53	6,580,000
28年度	109	5,935,000	4年度	51	5,460,000

## 東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園の活動

今年度は幼稚園の教育活動が、少しずつ通常に戻ってきました。これまでの数年間、コロナ禍で制限されなかなかな思うように行事等に取り組めませんでしたが、今年は、これまで例年行われてきた行事を復活させることが出来ました。

日々の保育の中で、クッキングなど食育に繋がる取り組みも各学年で計画し取り組んでいます。毎年長組が楽しみにしているお泊り会、昨年はぎりぎりのところで断念した行事です。今年度は挙行することが出来ました。



7月21日（金）終業式後、夕方再び登園し翌日までのお泊り会です。まずは、友達と協力して布団敷きをしました。その後、身支度を整えて、夕食のカレーに入れる野菜を準備しました。包丁を上手に使うことが出来ました。給

食係やおやつ係などみんなで分担して取り組みました。おやつ係は近くのスーパーに買い出しに行きました。ホールでプラネタリウムを見て、夜はみんなぐっすり休みました。友達や先生との楽しい思い出作りが出来ました。



また、7月29日（土）には地域と連携した恒例の夕涼み会を行いました。地域の盆踊り会場の大きな櫓の周りで、浴衣や甚平など普段とは違う身支度で、園で練習してきた盆踊りを3曲披露し、最後に保護者の方も一緒に踊って頂きました。踊りの後は、自治会と園からのお土産をいただき、また一つ夏の素敵な思い出作りが出来ました。

地域に根差したわたなべ幼稚園として、今年度も様々な教育に取り組んでいきます。

## 東京聖栄大学附属調理師専門学校での活動

新型コロナウイルス感染症が緩和しつつあるものの、長い経済活動の停滞により飲食店が大きな打撃を受けるとともに、少子化の影響も重なり調理師専門学校の入学者も減少傾向が顕著に現れ、令和5年度の一般入学者は調理技術研修生を下回る状況となりました。これにより入学式も新入生と教職員のための縮小実施としました。

このような状況は今後も長く続く予想されることから、来年度以降は一般入学者の募集活動は停止し、今後2年間は内部進学者（調理技術研修生）のみで行う事業計画が理事会・評議員会で決定されました。

また、この決定に伴い今後の調理師専門学校後援会の活動についても7月に役員会が行われ、今年度をもって終了の運びとなりました。

今年度の学校行事としては、外部講師を招いての特別調理講習会、東京都下水道局による環境衛生講習会、日本年金機構講習会、合羽橋道具街見学会、テーブルマナー、卒業調理作品展などを予定しています。

さらに大学との協力のもと、「わんぱく相撲葛飾大会」や「かつしかスポーツフェスタ」などへの調理技術研修生を中心とした模擬店参加、葛飾区との連携事業である公開講座や「食べきり・使いきりメニュー」の提供なども行う予定です。



テーブルマナー



かつば橋見学会



特別調理講習会

## 大学トピックス

### 「韓国の日本卸売市場視察団」が来校し特別講義を受講しました。

韓国農村振興庁 魏(ウイ)台錫輸出農業支援課長から、食品学科 藤島廣二先生に対して、ソウル市内・可楽共販場職員などを団員とする「日本卸売市場視察団」21名に対する特別講義の依頼があり、令和5年8月24日(木)、721教室において、藤島先生による『青果物市場流通の現状と課題』と題する特別講義が行われました。



成田空港から本学に直行した視察団に対して、田所理事長・学長先生からの歓迎挨拶と記念品贈呈(葛飾区伝統工芸品)が行われ、視察団からも訪問挨拶と訪問記念品をいただき、日・韓の「食」に関わる専門家同士による和やかな交流の機会ともなりました。

### 本田消防署及び葛飾区のご協力のもと、防火・防災訓練を行いました。

令和5年10月4日(水)に、1年次生を中心に火災・災害発生時の行動手順の訓練を行い、防火・防災体制の整備、各自の役割を習熟する事で防火・防災意識の向上を高める事を目的として、本田消防署上平井出張所、葛飾区防災課のご協力のもと、防火・防災訓練を実施しました。

新小岩公園に避難する訓練を予定していましたが、訓練当日が雨天の為、講習会として行われました。内容としては、火災時の初期消火訓練(空気消火器)やAEDの使用訓練、簡易トイレ設置の実技講習が行われました。また、新小岩公園の防災機能や本学の備蓄物品・資機材について説明がなされ、学生及び教職員が防火・防災に対する意識向上と防災行動力を高める有意義な訓練となりました。



## 令和6年度 東京聖栄大学 学生募集要項(抜粋)

### 健康栄養学部(共学)/管理栄養学科・食品学科(募集定員:両学科共80名)

フードサイエンスコース・フードビジネスコース

入試区分	試験日	選抜方法
総合型選抜(自己推薦型)	12月16日(土)	調査書、大学入学希望理由書、面接、基礎学力検査
社会人入試		調査書、経歴書、小論文、面接、学力検査
一般選抜	1期	1月30日(火)
	2期	2月10日(土)
	3期	3月8日(金)
	4期	3月19日(火)
		学力検査(1・2期は2科目受験、3・4期は1科目受験) *3・4期は調査書も積極的に活用。

入試区分	試験日	選抜方法
大学入学共通テスト利用型	1期	*本学独自の試験は無し
	2期	
	3期	
	4期	
総合型選抜3期(食品学科)	3月8日(金)	調査書、大学入学希望理由書、面接

\*上記以外で、「編入学入試(食品学科3・2年次編入)」を実施。【試験日】1期:12/16(土)、2期:2/10(土)。

\*一般選抜1期は、「入試成績優秀者特待生制度(成績上位者10%以内(最大5名)に対し、入学後300,000円支給)」あり。

\*入学願書等は、インターネット出願にて受付。

\*各入試区分における出願期間、選抜方法等詳細については本学ホームページ並びに「令和6年度学生募集要項」をご確認ください。

受験相談会	10/29(日)、12/3(日)	【開催時間】13:00~16:00
受験相談会(個別入試相談会) ~聖栄葛飾祭と同日開催~	11/11(土)・12(日)	【開催時間】10:00~13:00、14:00~16:00
高校2、1年生対象春のOC	R6.3/23(土)	【開催時間】13:00~17:00

\*当日の実施内容等詳細は、決定次第本学ホームページよりご案内いたします。(各回共に、要予約)



本学ホームページはこちら

<お問い合わせ先>

入試・広報課

TEL: 03-3692-0238(直通)

E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

発行 東京聖栄大学

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6

TEL: 03-3692-0211(代)

URL <https://www.tsc-05.ac.jp/>